

平成17・18年度 文部科学省 伝え合う力を養う調査研究事業指定校
福山市教育支援事業(道徳・音楽)指定校



福山市立 旭小学校

平成19年 2月 7日(水)

福山市立旭小学校の紹介



福山の中心部

城下町の残る町並み
昔からの商店街と大型スーパー



学校教育目標

心やさしく、創造性豊かで、生きる力を持った旭っ子の育成

自ら学ぶ子

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する子

心やさしい子

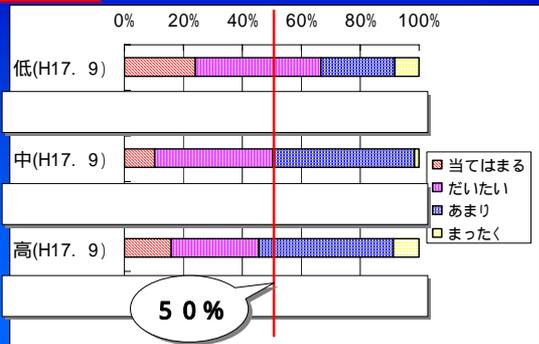
お互いのよさを認め合い、仲間と共に伸びる子

たくましい子

学んだことを生活に生かし、最後までやりぬく子

本校の現状分析

自分の思いや考えが発表できますか。



保護者アンケートから (H17.9)

友だちの発表をよく聞いている **85%**

わが子は自分の考えをはっきりと言うことができる。 **63%**

わが子は正しいことばづかいができています。 **61%**

研究主題

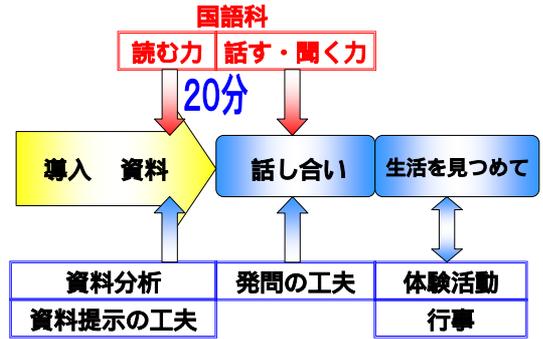
一人一人に生きる力をはぐくむ道徳教育

- かわり合い、認め合おうとする
子どもの育成をめざして

話し合いの充実

道徳のねらいを深め合う
話し合いの充実に向けて

キーワード “充実”



・ねらいにせまる話し合いの授業分析

事例

道徳の時間指導計画・記録

主題名	相手の気持ちを考える	資料名	何ががちがう
ねらい	2・(2)	出典	(学校図書)
ねらい	一見思いやりのある行為も、よく考えると相手のためにならないことに気づき、 運転のごとを考えたようにうそを心算を育てる。		
学習活動	主な発問と予想される児童の反応	発問と評価	児童の反応
1 導入	人に親切にされて助けてもらった。気持ちよかったですか？ たはあはあせせせか。 貸してもらって助かった。 保健室まで、連れて行ってくれた。	誰かに親切にしてもらった時のことを想起し、助かったこと、うれしかったことなど、プラスイメージをふくらませる。	
2 本時	ケンジ君は、その後どうしたと思いますか、自分がかがかにあやまる、ケンジ君に知らせる。 一緒にあやまる。 後半を読みます。ケンジ君のしたことは親切だと思いますか、おかしいと思います。 シンゴ君や車の持ち主のことを考えていない。 シンゴ君が本当のことを言ったら怒る。 本当のことを言わないでほしい。 僕の話を聞いて、うそをつかるとは思いません。 他の話も読みます。それぞれの主人公が何をしたいにはあきらめませんか。 優しいに思っているようにみえるが、うそをついて、親切にしているが、忘れ物をする友だちのため。	人のために役立つという素晴らしい気持ちはあるが一方的なものになってしまっていることに気づいたか。 する前からされる側に視点移動し、賞功をしてもう他の児童にも目をさせる。	探検後に記入

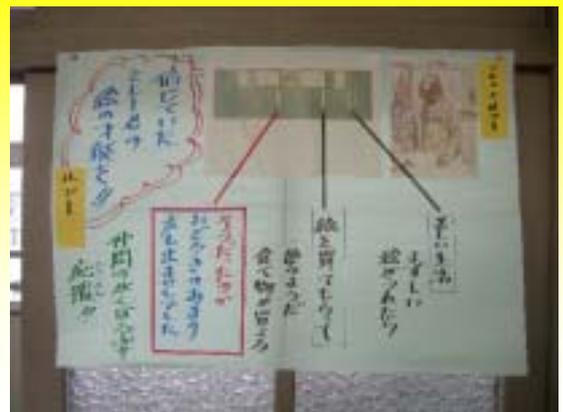
(_____ は、「ねらいにせまる児童の発言」)

中心発問・補助発問と児童の発言

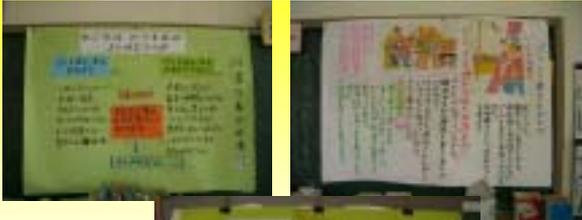
中心発問・補助発問と児童の発言

- T1: 後半の話を読みます。ケンジ君のしたことは親切だと思いませんか。
- C1: これって、へんじゃ。これって、シンゴ君にうそついてる。
- C2: これいいじゃない。
- T2: なぜ、いけないと思ったんですか、シンゴ君は、安心したんじゃないのかな。
- C3: 運転手さんの立場なら、一言でもあやまってほしいと思います。
- C4: うそをつかれるよりも本当のことを話してくれるほうがいいと思ってるはずですよ。
- C5: これは、おもいやりな感じがしないし、今、話をしている人にもうそをついている。
- C6: でも、シンゴ君は**後で本当のことを知ったら腹立ちたい。**
- T3: ケンジ君はシンゴ君のことを思って言ったんだよね。
- C7: でも、車の屋根にボールを当てたのは、シンゴ君なんだからシンゴ君があやまらないといけないと思います。
- C8: 車の持ち主は、シンゴ君が当てたのが事実なんだから、ケンジ君にあやまっても意味がないと思います。うそをついてまで安心させてほしくないと思います。
- T4: なるほどね。では、本当のことをシンゴ君が知ったらどうだろうか。
- C9: シンゴ君は怒むと思います。
- C10: うそをついたらいいやな気持ちになるからです。**うそをつかれることが楽しい気持ちになると思います。**
- C11: 私は、ケンジ君が運転手さんやシンゴ君にうそをついて、**後で本当のことを知ったら、どっちとも腹を立てると聞きます。**

板書計画を立て、焦点づけた板書の工夫



板書を簡潔にまとめた道徳掲示

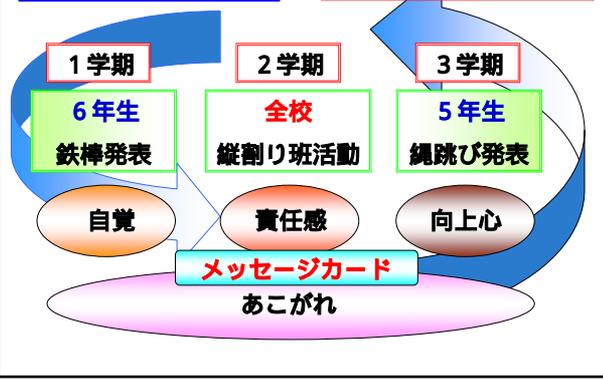


道徳
コーナーの
充実



事例) 総合単元的な道徳学習

キーワード
“かかわり合い認め合う”



6年 総合単元的な道徳学習の計画 1学期			
めざす子ども	中心項目	めらう	関連項目
みんなに役立つ取り組みを喜ぶにがんばる子	1・(2) 不換不屈	なほ	4・(1) 役割と責任
<p>単元設定の理由 子どもたちの価値観の中に、自分にとって得な事柄に関しては積極的に関与していくが、大変な作業が伴うことや汚れること、自分の時間を制約される事柄について、できれば避けて通ろうとする傾向がある。また、無理をして何かを手に入れようとするのではなく、たやす(楽)を求めようとする傾向にもある。今回、子どもたちが頼だと思っている事柄の中にこそ、生きていく上で大切なことがあることに気づかせ、人のために行動する機運を作りたい。</p>			
教科	道徳の時間	特別活動・総合的な学習の時間	意識の流れ
6年生 鉄棒発表	<p>主題 奉仕活動 4月 4・(1) 役割と責任 資料名「奉仕委員会活動」 ねらい 自分の役割と責任を自覚し、主体的に果たそうという意欲を培う。</p>	<p>特活「委員会決め」「折り紙作り」 「折り紙作り」 相手に喜ばれるという目的で折り紙を作る。</p>	<p>責任のある仕事をししていくぞ。 リーダーとして、どのような行動をとればいいのかを自分ができるもう一つ難しい難目にチャレンジするぞ。一年生に喜ばれるように一生懸命に折り紙を作るぞ。一年生が喜んでくれるように。</p>
体育 「鉄棒発表に向けて」 めあてに向かって、チャレンジすることの大切さを知る。	<p>主題 自分をみつめて 5月 1・(2) 不換不屈 資料名「私の宝物」</p>	<p>さわやかタイム「読書」 「一年生に読めかせ」 読書伝説を作り上げよう。</p>	

4年生 地域安全マップ発表			
めざす子ども	中心項目	めらう	関連項目
自分たちの地域を安全に保つことに貢献できる子	1・(2) 不換不屈	なほ	4・(1) 役割と責任
<p>単元設定の理由 一学期には、仲間とともに学校の規則を守ることやきまりなどの奉仕活動を通して一生懸命に生活することの大切さを知り、実践が出来るようになった。二学期にも、地域の安全を守るために、自分たちが出来ることを考え、地域を安全にするための活動を行う。自分たちで考えた安全マップを発表し、地域を安全にするための活動を行う。</p>			
教科	道徳の時間	特別活動・総合的な学習の時間	意識の流れ
4年生 地域安全マップ発表	<p>主題 地域安全マップ作り 4月 4・(1) 役割と責任 資料名「地域安全マップ作り」 ねらい 自分たちの地域を安全にするために、自分たちが出来ることを考え、地域を安全にするための活動を行う。</p>	<p>特別活動「地域安全マップ作り」 「地域安全マップ作り」 自分たちの地域を安全にするために、自分たちが出来ることを考え、地域を安全にするための活動を行う。</p>	<p>自分たちの地域を安全にするために、自分たちが出来ることを考え、地域を安全にするための活動を行う。</p>

4年生による 旭地域安全マップの説明

5年生の三学期の構想図			
めざす子ども	中心項目	めらう	関連項目
自分たちの地域を安全に保つことに貢献できる子	1・(2) 不換不屈	なほ	4・(1) 役割と責任
<p>単元設定の理由 子どもたちは、後3か月で最高学年となる。児童会運営や、六送会、卒業式の準備など最高学年を意欲した行動が増える。これまで子どもたちは、6年生の姿を見ても大半は6年生の仕事だとなりきっていた。しかし、6年生にならなければならぬという気持ちを持っている。そこで、旭小学校のよき伝統を受け継ぎ、さらによい学校にしようとする意欲をもたせるために、この時期新しいリーダーとしての自覚を促し、意欲して生活することが大切であると考え本単元を設定した。</p>			
教科	道徳の時間	特別活動・総合的な学習の時間	意識の流れ
5年生 縄跳び発表	<p>主題 自分を見つめて 5月 1・(2) 不換不屈 資料名「私の宝物」</p>	<p>総合的な学習の時間 1月 - 「人のためにできること」 ねらい 働く人々の思いをまとも、分がこれらからできることを考える。</p>	<p>自分の仕事を責任をもってやります。 自分の係活動を持って、自分の役割を責任を持ってやり遂げようとする。</p>

鉄棒発表を見た
子どもたちの
休憩時間の過ごし方



感動の
メッセージを
4年生から
5年生へ



事例) 総合単元の評価

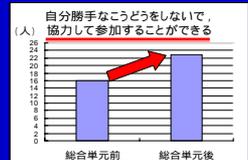
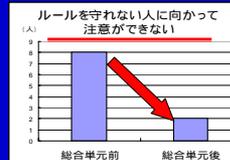
4年生一学期の
総合単元

1 子どもの意識の連続について

- ・音楽のリコーダー練習で感じた思いが、道徳の時間「何かがちがう」につながった。
- ・道徳の時間の配置も意識の連続が図られた。
- ・後半に「学級遊び」や「そうじ」を位置づけたことで、仲間と共に高まり合う実践の場となった。

2 めざす子ども像にどう迫れたか

仲間を思いやりともに伸びようとする子ども

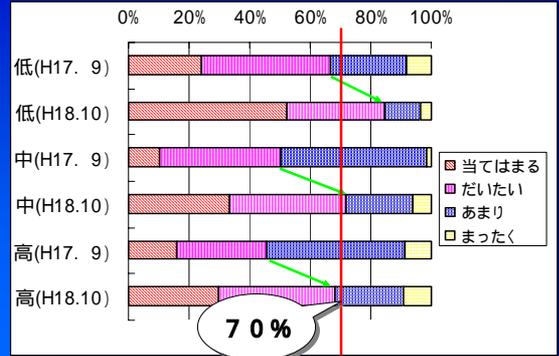


総合単元構想を
示した掲示物

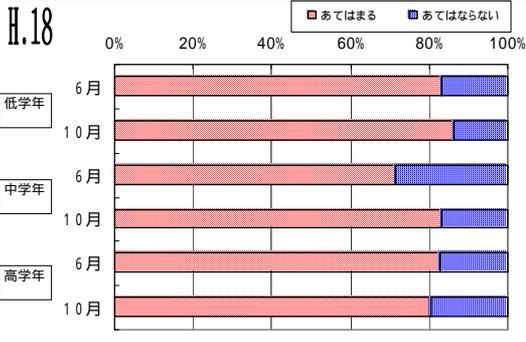
2, 国語科の基礎基本の定着

伝え合う力の意識調査の結果 と 成果・課題

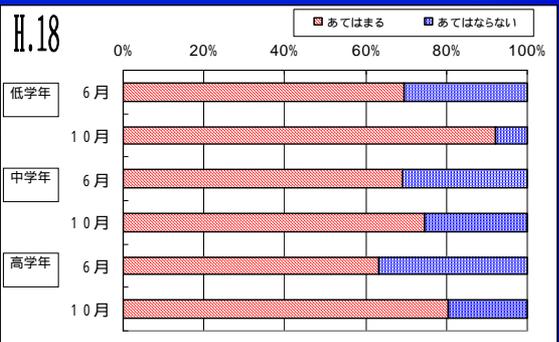
自分の思いや考えが発表できますか。



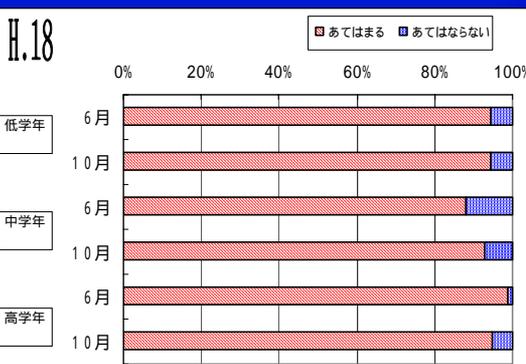
腹が立ったとき、解決するために、
自分の気持ちをことばで伝えることができます。



自分と違う意見も受けいれながら、
自分の考えを話すことができます。



あなたをよくわかってくれる友だちがいます。



成果

児童の話し合いの時間を充分とれるようになった。

児童に伝え合う場ができた。

教師の補助発問や切り返し発問の改善が図られた。

児童は深く広く事象を見つめ、考え、自分の生活と関連づけた発表ができるようになった。

児童どうしがかかわり合おうとする姿がよく見られるようになった。

児童はかかわり合い支え合いなど、認め合おうとする姿が日常よくみられるようになった。